



# 六中防災 便り

Vol.10

2017.3.10

## 2011.3.11 - あの日を忘れない -

2011年3月11日午後2時46分に起きた東日本大震災から早いものでもうすぐ6年が経とうとしています。日本に大きな衝撃と悲しみをもたらしたあの日。最大震度は宮城県で観測された震度7。この地震により巨大な津波が発生し、死者・行方不明者は1万8447人（平成29年3月1日現在）に及びました。日本国内で起きた自然災害で死者・行方不明者の合計が1万を超えたのは戦後初のことです。

地震による津波の影響で、福島県では福島第一原子力発電所で事故が起きました。6年たつ今もなお、収束の見通しが立っていません。また、関東地方では、道路が寸断され、車は動けなくなり、各地の鉄道は終日運転を見合わせました。交通機能が完全に停止した首都圏は大混乱に陥りました。東日本大震災による帰宅困難者は515万人に上るとされています。さらに商品の買い占めなども社会問題になり、スーパーやコンビニで水や食料、生活必需品が不足する事態も起きました。

あの震災から6年・・・今、私たちにできることは一体何でしょうか。いつどんな時に起こるか分からない自然災害。昨年は熊本地震、鳥取中部地震と、立て続けに大きい震災が起こったことも記憶に新しいところです。私たちの住んでいる東京でも、30年以内に首都直下型地震が起きる確率は70%といわれています。

もし、そのような災害にあった時、できること・やれることを「知っている」と「知らない」とでは大きくかわってきます。私たちはこの1年でさまざまな状況を想定した避難訓練や、宿泊体験、安全指導などを通して、防災に関し学習してきました。いざという時、自分の命、大切な人の命を守るための備えを普段から行っていきましょう。また、被災地や避難所では情報が錯綜し、人々に不安と混乱を生じさせました。何が正しい情報なのかを見極める力を今のうちから身につけておくことも大切です。



(避難所での生活)



(救助隊員による捜索活動)

(写真提供：仙台市)

## 今年度最後の避難訓練

3月9日3,4時間目に卒業式の合同練習がありました。その後、卒業式中に地震が起きたことを想定した訓練が行われました。その場ですぐに身を守る姿勢をとりただちに校庭に避難をしました。

生徒たちは落ち着いて行動をとっていましたが、実際は来賓の方や保護者の方もたくさんおり、会場内はパニックに陥ることも予想されます。いかに冷静に指示を聞いて動くことができるかが大切です。この経験を今後に活かしていきましょう。

## シェイクアウト訓練

今日3月10日9時30分足立区シェイクアウト訓練が行われました。この訓練は足立区内の施設で一斉に行われるもので、昨年は約500箇所で行われました。シェイクアウト訓練は2008年アメリカ西部の地震防災訓練の一環として始まり、「SHAKE OUT」とはアメリカの造語で「地震を吹き飛ばす」の意味です。①体勢を低くして②頭を守って③揺れが止まるまでじっとする 3つの安全行動を1分間とるというシンプルな防災訓練で、毎年各地で多くの人々が参加しています。今日このような訓練があったことを家の人にも伝えて、防災について話し合ってみてください。



(提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)